AsahiKASEI
旭化成ホームズ株式会社

ヘーベルハウス
2.5世帯ものがたり
～秋篇～

私の不安と滑った台詞。

夫はわかっているのだろうか？

「パパ、おりがみできた」「春香スゴい！二重丸！いや、2.5重丸！」「パパ！えんそくのしゃしんだよ」「翔太は二枚目！むしろ2.5枚目！」「・・『2.5』押しすぎでしょ」夕食後の皿洗いをしてくれている夫と、子どもたちのやり取りを見ながら思わずつぶやく。私の名は吉田恵、三十二歳。三つ年上の夫孝則と、六歳の長男、四歳の長女の四人家族。共働きでの主婦業はけっこう大変だけど、夫は協力的だし、子どもたちは可愛いし、幸せなんだと思う。私たち家族は夫の提案で、夫の両親と独身のお義姉さんといっしょに暮らす「2.5世帯」同居を考えていた。お盆に帰省し、みんなで話し合った。でも結論には至っていない。「同居の条件はブランドバック！」なんて冗談とともに、私は夫に前向きな意思を伝えている。でも不安がない訳じゃない。育児も、家事も、お仕事も、ママ友づきあいも。私はがんばってる。胸をはって言える。だけど、もし同居して、夫にジャンケンで勝った私が肩もみしてもらいながら「くるしゅうない。足ツボもよろしく♡」的な軽口をたたいている姿を万一お義母さんに見られたら、「アレ？恵さん？」と疑われるかもしれない。いつもオシャレなお義姉さんに、すっぴんで髪ふりみだして子育てしてる姿を見られたら、「ダレ？恵さん!?」と驚かれるかもしれない。『ヘーベルハウスの2.5世帯住宅』は、玄関もキッチンもおフロも居住空間が世帯ごとに独立しているから、共有スペースに集まるとき以外は、生活が干渉される心配はない。理解している。私たち夫婦が忙しいときは、育児をサポートしてもらえる。ありがたい。夫の両親もお義姉さんも本当に優しいし。でも。それでも不安で、心細いんだから、嫁の立場は。夫よ、わかってる？「恵が笑顔で暮らせるように」「え？」「今まで以上に支えていくから」「・・・フフッ。似合わない」「ええ～」赤面する夫。でも、ありがとう。「ママ、おつきさま」「あ、満月」私たちの2.5世帯も、この満月ぐらいまぁるく明るくいくといいけど。頼りにしてるぞ、旦那さま。

秋篇〈終〉

※お盆篇はヘーベルハウスHPでご覧いただけます。

2.5世帯住宅で、暮らしませんか？

考えよう。答はある。
ヘーベルハウス

資料のご請求はフリーダイヤルまたはホームページでお気軽にお申し込みください Free Call 0120-917-555 電話受付時間／10:00～17:00（火曜・水曜定休日）※地域により留守番電話になっている場合がございます。 http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/

［個人情報の利用目的について］お問合わせ・資料請求でいただいた個人情報は ●カタログ・資料の送付、見学会・セミナー等の各種イベント等のご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただく場合があります。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。

HEBEL HAUS 40th ANNIVERSARY